

3学期の活動報告 5歳児



大きな雪だるまできました。



1月 雪遊び



雪が降った日には、友達と力を合わせて、雪だるまやかまくらを作って遊びました。

友達と力を合わせることで、大きなものを作り上げることができます。



分厚い氷をつくりたい！



氷遊び

分厚い氷を作りたい、容器全部に氷（全氷）を作りたい！という願いが生まれました。

容器の種類、置き場所、などを考えながら、試行錯誤する毎日でした。

温度を置き、毎朝の温度や天気を記録しながら、氷の出来る様子と比べていきました。

マイナスへの不思議、憧れなどの気持ちも芽生え、子どもたちの問いや願いは続けていきました。



子ども同士で教え合っています。



いろいろな製作遊び

楽焼粘土で動物を作ったり、織機を使って毛糸でリリアン編みなどを作ったりしました。様々な素材に触れる中で、その性質を感じ取ったり、どう使うとイメージ通りになるか等、作りながら考え、自分の物にしていきます。ここでも教え合う姿がみられました。



クラスの仲間としての高まり



遊びを進める

クラスの仲間と一緒に活動しようとする気持ちが高まりました。ドッジボールを毎日のように友達を誘い合って、元気に遊ぶ姿があります。

ライン際でどっちのボールなのか、どっちが速く取ったのか等も、当事者同士だけではなく、周りの子も積極的に話合いに参加して、自分たちだけで解決する姿が、多く見られるようになりました。

楽器演奏では、やりたい楽器を選んで、それぞれのパートごとに取り組みました。リズムと音を覚えて歌に合わせていきました。2人または、3人と複数人で合わせてうまくいったときには、互いに笑い合い、心から喜びの声があがりました。



影絵遊び



これらのクラスでの活動を通して、1年間の集大成として、「楽しみ会」を開催しました。クラスでどんなものを作りたいかの企画から、子どもたちと先生と一緒に考え、ひとつずつ丁寧に取り組んでできました。光で遊んできた子どもたちは光を使った影絵遊びをしていました。子どもたちは、図書室の絵本『にじいろのさかな』に目が留まり、海をイメージしはじめました。

劇遊びに必要なものを考え、自分たちで衣装や海を作っていました。



影絵遊び



自分たちが表現している様子を、観合ったり、ビデオに撮って鑑賞したりする中で、友達の良いところや、もっとこうするとよくなるどころ、そして、自分のよかったところ等を考えて、発表する機会にしていきました。それにより、自己肯定感の高まりとともに、認め合う関係作りが深まりました。特に、お家の方に観てもらいたい気持ちは大きくなっていきました。



楽しみ会

当日は、子どもたちが魚役になったり、影絵をしたり、最後には、みんなで呼吸やタイミングを合わせて、パネルを作ったりしました。

どの子もやりきった満足感でいっぱいでした。